

平成24年度事務事業評価シート

平成24年度よりエコオフィスなると推進事業へ統合

◎基本情報

事務事業名	緑のカーテン普及促進事業		担当部署	市民環境部 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	第3次鳴門市地球温暖化対策実行計画「エコ・オフィスなると」、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)	2	安全で快適な環境の鳴門づくり		事業期間	開始
政策(中項目)	2	資源循環都市なると			
(小項目)		環境	終期		未定
施策	1	自然環境の保全と環境整備			
基本事業	3	持続可能で環境にやさしいまちづくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 市民、市関係施設(保育所、幼稚園、小学校、中学校、市各部署)						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	緑のカーテンを普及させることにより、夏場の冷房使用を抑え、地球温暖化防止を目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		ゴーヤ苗の配布数	1,050	1,100	1,800	2,000	2,000	苗

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市民や市関係施設にゴーヤ苗を配布したほか、配布したゴーヤが育ち緑のカーテン実施状況を市公式ウェブサイトに掲載し、緑のカーテン事業の普及啓発に努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民へのゴーヤ苗配布数	521	375	1,200	1,400	1,400	苗
	2	市関係施設へのゴーヤ苗配布数	498	690	600	600	600	苗
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ゴーヤ苗の配布数		1,019	1,065	—	—	—	苗
	目標達成率(実績/目標)			96.8	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		63	50	0	0	0	千円
	財源内訳	国	0	0				
		県	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	0	0				
		一般財源	63	50				
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		1,054	1,054	0	0	0	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1					
	臨時職員等(2,012千円/人)	0.2	0.2					
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		1,117	1,104	0	0	0	千円	

【事務事業名：緑のカーテン普及促進事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	緑のカーテン事業について、テレビや新聞などの各報道機関を活用し、啓発を図ったことにより、環境政策課で育てたゴーヤ苗の配布数が昨年度と比較して増加し、緑のカーテン事業の周知が図られた。ゴーヤ苗は天候によって育成状況にばらつきが出るため、育苗方法について検討するとともに、緑のカーテンの地球温暖化防止効果についても検討する。また、実際の緑のカーテンをしている様子を写真にとって市公式ウェブサイトにて公開する予定である。
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	4	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	緑のカーテン事業は、地球温暖化防止につながる事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 自然環境の保全と環境整備 の達成につながる事業である。	
		<input type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
/10	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。		
2.有効性の評価		理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	緑のカーテンを行うことにより、夏場の冷房使用を抑え、地球温暖化防止に役立つ。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。		
	<input type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
/10			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	ゴーヤを自前で育苗することにより、市民等に配布するゴーヤの数を増やしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10			

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				